デスクライトとなるベッドサイドライト

葵HOTEL KYOTOプレミアム

AOI HOTEL KYOTO PREMIUM
Designer Makoto Tanijiri + Ai Yoshida / SUPPOSE DESIGN OFFICE

企画・プロデュース／ワンブロック　辻本祐介
設計／サポーズデザインオフィス　谷尻 誠　吉田 愛　西永亮也
照明計画／モデュレックス　今井祐樹　長尾懐里
特注照明制作／セブンスコード　米倉真吾
撮影／長谷川健太

客室「サーバービュー」を開口部方向に見る。特殊セメントモルタルでベッドと一体化したデスクの天板には、ベッドサイドライトの調光用のつまみや客室全体の調光パネルを組み込んでいる。パネルおよびスイッチも全てオリジナル

それぞれの客室デザインに ふさわしい仕上げで組み立てる

京都・木屋町通りと鴨川に挟まれた築47年の元集合住宅を、耐震補強しつつリノベーションした「葵HOTEL KYOTOプレミアム」。木屋町側と鴨川側で、「シティービュー」と「リバービュー」の二つの客室で構成され、それぞれ入り口から開口部へ向けて床を上げると共に天井を下げている。視線の高さが異なる場所をつくることで、さまざまな景色を切り取って見せることを意図した。

客室の中央には、特殊セメントモルタルでデスクやベッドを一体的に制作した家具を設置。ベッドサイドライトは、主軸を回転させることでデスクライトとしても機能する。設計を手掛けたサポーズデザインオフィスの吉田愛さんは、「家具のディテールは、空間デザインに大きく関わるものであり、オリジナルで表現していくことを考えました」と語る。

「これまでもさまざまなホテルのデザインを手掛けてきましたが、なかなか空間にふさわしい既成の読書灯や調光機器に出合えず、可能な限り制作してきました。今回は、ベッドをデスクと一体化させていることを踏まえ、ベッドサイドライトはシャープで機能的なデザインを意図しました」

ベッドサイドライトがヘッドボードから立ち上がっているのも、「デスクの上に座が着くと美しくない」と感じたからだと言う。ボードに添わせて見付けを最小限に抑え、首は持ち手を感じさせないつくりとした。なお、デスク上には、ベッドサイドライトの調光用のつまみや客室全体の調光パネルをシンプルにおさめている。それぞれのパーツは、客室の色味によって仕上げを変えており、グレーの色味の客室はコッパーを、ベージュの色味の客室は真鍮を採用。空間にふさわしい仕上げとした。

日本古来のスタイルを大切にしつつ、新しいスタイルを取り入れ更新し続ける。サポーズデザインオフィスが感じる「京都らしさ」を表現した空間にふさわしいアイテムが出来上がった。

DATA

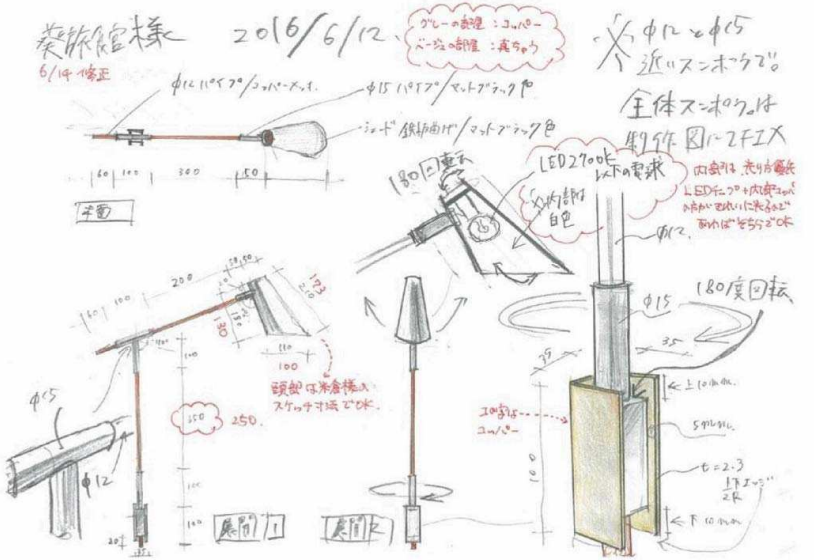
所在地：京都府京都市下京区木屋町通仏光寺上ル天王町 145-1
工事種別：内外装　全面改装
工期：2017年12月1日～2018年7月31日
設計協力：設備設計／島津設計　島津充宏　耐震補強設計／エフ建築構造研究室　柿丸 司　特注照明／セブンスコード　米倉真吾　カーテン、シート、クッション、イス／カッシーナ・イクスシー　安井 栢　置き家具／コンプレックス ユニバーサル ファニチャー サプライ
施工：安藤・間　今津 拓　田口裕章
施工協力：空調・給排水衛生設備／川本工業　電気設備／長田電設　家具／KOUJI　客室塗装／NENGO　客室天井木／ティンバークルー

営業内容

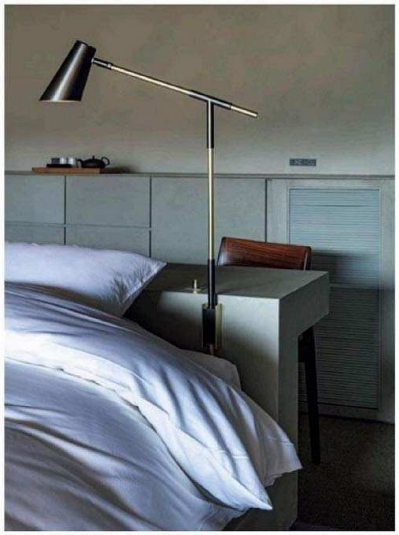
開業：2018年9月11日　電話：(075)354-7770
経営・運営者：帝葵ホテル&リゾート

主な仕上げ材料

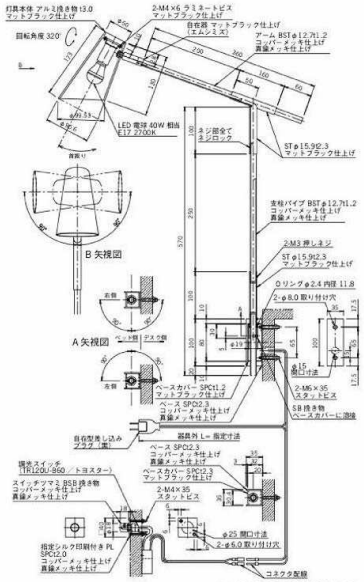
（客室）
床：合板下地磁器質タイル t10乱貼り（マリスト セリエストーン、マリスト ポートレイトマット／アベルコ）モルタル下地サイザルカーペット t7敷き（BE563／アイオーシー）二重床システム（万協フロアー／万協）の上縁なし和紙畳 t30敷き（大建工業）
壁：LGS組みケイカル板下地マリスト貼り　LGS組みPB下地AEP（ポーターズペイント）
天井：LGS組みPB下地AEP（ポーターズペイント）木板w30 t15目透かし貼り（ティンバークルー）浴室／LGS組みセメント板貼り（アクアパネル／チヨダウーテ）NAD
什器：木工下地マリスト t9乱貼り　特殊セメントモルタル仕上げ（モラート／フッコー）ST.PLリン酸処理センガ突き板貼り＋ST.PL真鍮メッキ塗装
照明器具：特注照明、調光スイッチ／銅メッキ、真鍮メッキ、黒皮塗装



ベッドサイドライト スケッチ



ヘッドボードから立ち上がるベッドサイドライト。首の主軸を回転させることで、デスクライトとしても機能する。首のパーツは、基調色がグレーの客室ではコッパーを、ベージュの客室では真鍮を採用している



ベッドサイドライト 詳細図 1:10